



『きいちゃん調教日記 2 ～年下関西弁男子はアラサーOL をグズグズに虐めたい～』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★★
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★☆

■感想

読んでて思わず「末恐ろしい…！」と口走りたくなる年下彼くんの破壊力。普通なら「嫌われるかも」とブレーキがかかる場面でも、この子はためらいゼロで攻め切る。その大胆さにヒヤヒヤしつつも、TLや官能小説で女性心理を予習してきたんじゃないかと疑いたくなるほどツボを突いてくるのが面白い。ヒロイン視点では罪悪感や葛藤も描かれ、ただのえっちシーンで終わらない心理描写が作品の深みを増している。拘束や玩具、言葉責めなど調教要素はバリエーション豊富で、ドM心をこれでもかと刺激してくれるのも最高。さらにデートでのやりとりや、たまに見せる年相応の一面がギャップ萌えを誘う。読後には「ドスケベスイッチ入っちゃった…」と素直に白旗をあげざるを得ない、そんな中毒性のある一冊。イチャラブを期待するもよし、ドS調教に震えるもよし。続きが待ち遠しくてたまらない作品だった。

『きいちゃん調教日記 2 ～年下関西弁男子はアラサーOL をグズグズに虐めたい～』を今すぐ立ち読み